

熊本県ブロック市町村長有志協議会を開催

11月8日、九州森林管理局大会議室において、国有林・官行造林が所在する熊本県内の市町村長等、川畑充郎熊本森林管理署長及び赤星良治熊本南部森林管理署長ほか署関係者、小島孝文九州森林管理局長をはじめ局幹部及び関係者、来賓として大岩禎一熊本県農林水産部森林局長を迎え、令和3年度の熊本県ブロック国有林野等所在市町村長有志協議会を総勢57名で開催しました。

会議は内村圭一総括地域林政調整官の司会進行により、代表世話人である竹崎一成芦北町長、小島局長、大岩森林局長から挨拶を頂き、竹崎町長を座長に議事進行して頂きました。

議事では、九州森林管理局からの情報提供として一重喬一郎企画調整課長から新たな森林・林業基本計画の策定、公共建築物等木材利用促進法の改正、令和4年度の林野関係予算概算要求の概要、令和3年度の九州森林管理局重点取組事項について、次に森林管理署からの情報提供として川畑署長から熊本及び熊本南部森林管理署の令和3年度の重点取組事項と主要事業量について説明しました。

続いて、市町村からの提起・要望事項として事前に頂いていたシカ被害対策に対する森林環境譲与税を活用した取組事例、併用林道の復旧について管轄する赤星署長が回答・説明するとともに、意見交換の中では草原の野焼き時における保安林解除の迅速化や太陽光発電など大規模開発への規制の必要性、今後の木材価格の動向や都市部における中高層木造建築物の状況、流域治水における国有林の方針等についての意見・要望が出され、活発な意見交換を行いました。

熊本県内においては、コロナ禍の中、昨年の令和2年7月豪雨等で多くの市町村が被災されていますが、熊本及び熊本南部森林管理署としては、引き続き関係市町村との連携・協力を深め被災地の復旧と県内の森林・林業・木材産業の活性化に向けて取り組んでいく考えです。



(挨拶する小島局長)



(挨拶する竹崎芦北町長)



(有志協議会の様子)

